

第4回国有林モニターアンケートの結果

国有林モニターの皆様には、毎月、広報誌やパンフレットなどの資料をお送りして、森林・林業、国有林野事業について、情報を発信しているところです。

今回のアンケートは、平成28年度から2年間にわたり活動していただいた国有林モニターの皆様への最後のアンケートであり、2年間の活動を通してのご感想・ご意見をお聞きしました。

いただいた貴重なご意見を今後の業務に活かしてまいります。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

○アンケート実施概要

実施期間：平成30年2月1日～2月16日

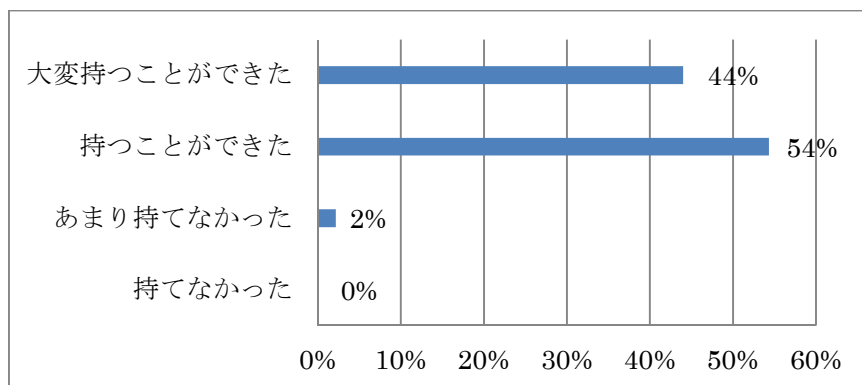
依頼者数：70名

回答者数：46名

回収率：66%

問1 国有林モニターとなったことにより、国有林野事業に興味を持ってましたか。

<回答結果>



○主な理由やご意見等

(大変持つことができた、持つことができたと回答された方)

- ・説明が文字だけでなく、子ども向けのイラスト入りのものもあり、国有林というものに入りやすかった。
- ・日常では国有林と接点がほとんどなかったため、送付される情報誌の講読等を通して、新たな情報を知るきっかけとなった。
- ・情報誌「林野」を読むことによって、国有林野事業に興味を持つことができた。区役所などにも置いてあるといいなと思う。

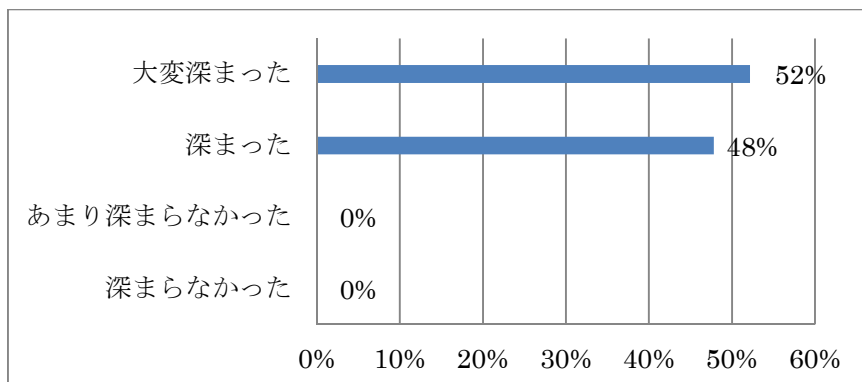
- ・ 国有林が、どこにどれほどあるのかも知らなかったが、地図と毎月の情報誌をいただき、山に出かけた時に、防災対策や植林の様子に目がいくようになった。
- ・ 新聞等で「国有林」という文字を見つけると記事を読むようになった。
- ・ 見えないところで一生懸命頑張っている方々がいることを知り、森を見る目が変わった。

(あまり持てなかったと回答された方)

- ・ 冊子等で新しい発見はあったが、やはり身近にないからピンと来なかった。

問2 国有林モニターとなったことにより、国有林野事業への理解は深まりましたか。

<回答結果>

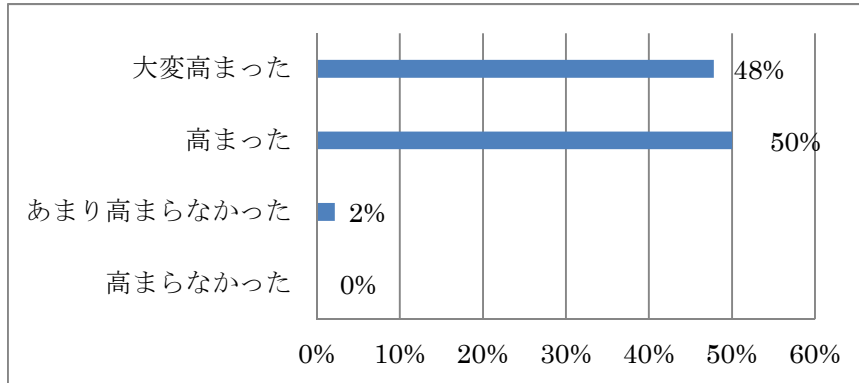


○主な理由やご意見等

- ・ 今までは、どうして森林の伐採が必要なのだろうか、森林を壊していると思うこともあったが、維持するために必要と知り、理解することができた。
- ・ 想像していた以上に国有林野事業をされていることを認識した。情報誌「林野」等により理解を深めることができた。
- ・ 学生向けと思われる教材も同封されていて、漫画等を通じて理解が深まった。
- ・ 現地視察を通して実際の現状を知ることができ、理解を深めることができた。現地視察は年1回ではなく、できれば2回くらいあるといいなと思う。
- ・ 国有林の知識がゼロだったので、事業の概要は知ることができたと思う。資料は同じ文章が繰り返し出てきたり、もう少し具体的に……、と思うこともあり、もう一步深まらなかった気もする。ただし、視察はとてもよい機会だった。
- ・ 大変で大切な事業だと思った。次世代につなげて守っていかなければと思った。
- ・ 事業内容を知ったことが理解につながった。

問3 国有林モニターとなったことにより、森林・林業への関心は高まりましたか。

<回答結果>



○主な理由やご意見等

(大変高まった、高まったと回答された方)

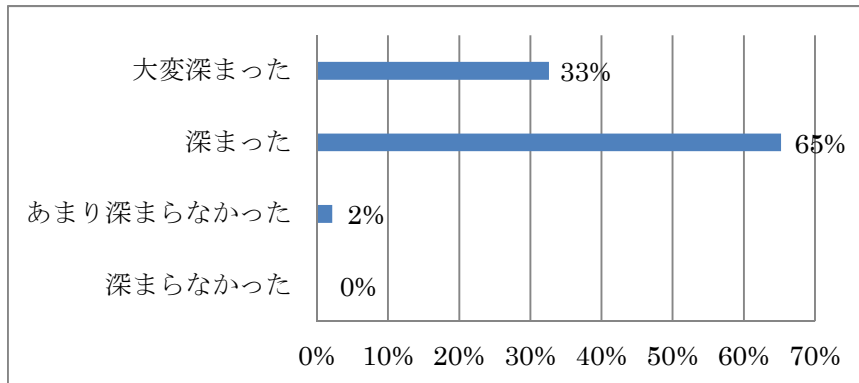
- ・森林・林業への課題について、問題意識を持つことができました。
- ・地味な職業である人々の活動を紹介して、それを知ることに関心が深まると思う。
- ・地方と林業のつながりを特集した「林業で地方創生」の記事に興味を持ち、取り上げられた地域を訪れてみたいと思った。
- ・森林と日本のつながり、歴史や文化は、今の私たちにも役に立つことがあるのではないかと感じた。これからもそういったことにアンテナを張って、生活の中で活かせるものは活かしていきたい。
- ・重労働、高齢化というイメージしかなかったが、ニュースで若手の就労が増えていることを知り、林業への関心が高まった。
- ・当たり前のように木や緑があるのではなく、携わっている方々の努力によって、常に保たれているのだと思った。

(あまり高まらなかったと回答された方)

- ・身近にないからピンと来ないが、森林のある地域への興味は出てきた。

問4 国有林モニターとなったことにより、森林・林業に関する知識が深まりましたか。

<回答結果>



○主な理由やご意見等

(大変深まった、深まったと回答された方)

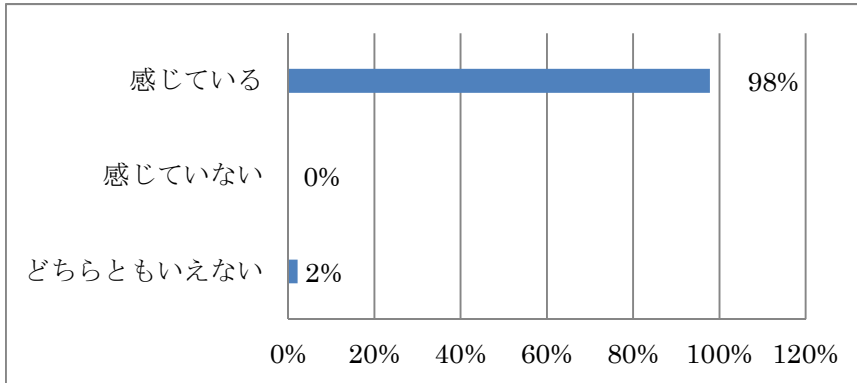
- ・今まで何とも思わなかったシカの被害や伐採後の木の行方について、資料を見たり現地を視察することにより、1本1本の木の大切さを感じた。
- ・情報の冊子を読んでいると納得できるが、時間が過ぎると頭の中に残っていることは限られているように思う。
- ・自分には難しい話もあったが、子ども向けの説明文には特に理解が深まった。
- ・実際に体験や講座を受けたわけではないので、「深まった」にとどめる。
- ・「絵で見る森林・林業白書」は分かりやすく、家族で読めてよかった。
- ・少しは深まり、これから予定している家のリフォームの参考としたい。
- ・森林が木材のためだけでなく治水等にも大切なこと、日本産の木材をもっと利用すべきことなど、知識が深まることが沢山あった。
- ・送られてくる資料を毎回読んで知識が深まり、現地視察で初めて見たことが大事な体験となり、次への知識へとつながった。

(あまり深まらなかったと回答された方)

- ・知識としては難しいと感じてしまった。

問5 国有林モニターとなって良かったと感じていますか。

<回答結果>



○主な理由やご意見等

(感じていると回答された方)

- ・無関心から関心へ。今では森林や林について考えることができるようになった。
- ・通常では見学することのできない林業の現場、バイオマス発電所を見ることができてよかった。
- ・国有林や森林の役割、林業の課題などを知るきっかけとなったことは、とてもよい経験となった。
- ・任期が1年ではなく2年あり、長きに渡って国有林について知識を深められてよいと感じた。
- ・自然と共存し、森林・林業を身近に感じ大切にしていかなければならないということを教えていただいた。
- ・一消費者として、何か木づかいができたらいいなと思っている。一国民・市民として、国有林・森林を守っていこうという意識が芽生えた。これからも応援したいと思う。
- ・知らないことが多く、非常に面白かった。
- ・防災の事業になっていることを知り感動した。また視察で現地を見に行けたのは、とてもよかった。
- ・自然がいかに大切か、自分個人で何ができるのか考えるきっかけになった。

(どちらともいえないと回答された方)

- ・現地視察に参加できず、資料を見るだけだった。

問6 最後に2年間の国有林モニターを通じてのご感想、ご意見などがありましたら、お書きください（自由記載）。

○主なご感想やご意見等

- ・大切な森や林を守るために、多くの人の力が結集されていること、知識があることを知ることができました。

日本は森林の豊かな恵みを昔からうけていました。その概念が少し薄れてきているように感じます。森林を守ることは未来遺産であり、次世代への贈り物だと思います。その大切さが忘れ物にならないように、社会に対して常に発信、受信を継続していただけたらと思います。皆さまのガンバリにエールを送りたいと思います。

- ・国有林は国で維持管理されているが、民有林の将来が気になる。後継者不足による森林の荒廃、乱開発、外国資本への売却等は森林資源だけの問題だけでなく、水源、漁業にも大きく影響することを考慮し民有林のあり方を検討してもらいたい。

国の林野行政はスギ、ヒノキ等の建築材に偏っているように感じる。木材の種類は多く、利用・活用分野も広い。もっと広い視野で林野行政に取り組んでももらいたい。12月号の「林野」の特集 日本の伝統文化を支える「漆」は非常によかった。時間はかかると思うが、国内の神社仏閣、伝統文化を守るため、国産漆100%を目指してもらいたい。

- ・他の省庁のモニターでは、報酬をいただけるものも多い。その反面、知識や情報の求められる専門的なアンケート調査も多かった。関心を高めるだけでなく、個々の事業等に対するアンケートがあってもよいように思った。

- ・特に印象に残っていることでは、国有林野事業業務研究発表会に審査員として同席させていただき、皆様の努力されている取組について詳しくお聞きしたことで、とても有意義なことでした。また、その際ベテランの審査員の方より、審査とは何を見るのが大切かを学ばせていただきました。とかく画面の美しさや話し方の上手さに素人は評価を高くしがちですが、その取組が今だけのものでなく将来への発展性があるか、新しいものであるかを見抜くことが着眼すべき点だと思いました。このことは、これから先のあらゆる判断にも役立つことだと思い、この機会を得たことに感謝いたします。これはほんの一例であり、書き切れないほど色々と学ばせていただきました。本当にありがとうございました。また職員の皆様の対応の良さにも心打たれました。お元気でご活躍ください。

- ・アンケートなどを通じて意見を述べることができたり、国有林、とりわけ自然への知識が深まって、大変有意義なモニターでありました。林野庁の会議などが土日であれば、土日が休みのモニターも出席できたりしたのかもしれませんが。幅広い国民に国有林モニターを体験してもらうためにも機会がもっと増えたらと感じます。
- ・茨城の視察に参加して、実際の現場を見て意識が大きく変わりました。そのときの林業の方々との意見交換も参考になり、その後の地域活動にも役に立っております。色々と勉強の機会を頂きありがとうございました。
- ・現地視察に参加し、現状を目で確かめることができ、事の重大さを感じました。思っていたよりも被害が進んでいたのには驚きました。自宅は海近なので、今回のモニターを通じて山間部にも目を向ける事ができ良かったと思います。
- ・「林野」をはじめ様々な冊子を読めて、自然に関する幅広い活動がよくわかりました。特に興味を持って読んだのは、イラストがとても細かく丁寧に描かれている冊子です。木や森の生き物、花、草などが、写真より印象に残る素敵なものでした。これからもこういった冊子づくりを続けてほしいと感じています。2年間大変お世話になり、ありがとうございました。また機会があれば参加したいと思っています。
- ・国有林モニター会議、現地視察が年に1回なのは少なすぎる。また、年に1回であれば数ヶ月前に告知してくれれば仕事も調整できるが、毎回告知が遅く参加できず残念であった。
- ・2年間あっという間でした。毎月資料を読むのは少し大変だったところもあるのですが、内容は多彩で楽しく拝見しました。終わってしまうのはさみしいです。私が今すぐに何かできるかというとなかなか難しいですが、今後の日々の生活の中で、日本や世界の森林を守るために役にたつことを意識して、選択していきたいと思っています。本当に勉強になりました。
- ・相続により1ha強の山林を所有していますが、なかなか手つかずにしています。市のホームページを見ても原発の問題に伴い、個人所有の山林は除染の対象外でいろいろと苦慮しており、山林所有の難しさを痛感するとともに、モニター応募の動機でした。良い機会になったと思いました。
- ・森林環境税の導入など、林業に対する国民的感心が高まり、林業の更なる進展に期待し、経済効果、日本の発展に寄与してくれることを強く望んでおります。国土の

7割を占める土地を利用し、民間との協業による再生可能エネルギー等に進出し、国の発展の一翼を担って頂きたいと切にお願いし、期待するところであります。

- ・今後、森林環境税が実施されることで、更に事業活動の幅が広がることを期待しています。

国土の7割近くを占める山地（森林）資源をどのように活かしていくかは、国としても重要課題と考えます。限界集落、過疎化が進む山間地は、森林含め荒廃が一層進む。森林資源の活用とともに、自然享受の施策（国営公園、山岳路、温泉等）を積極的に行い、山間地を活性化できればと願っています。